

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成28年2月18日(2016.2.18)

【公開番号】特開2014-126572(P2014-126572A)

【公開日】平成26年7月7日(2014.7.7)

【年通号数】公開・登録公報2014-036

【出願番号】特願2012-280685(P2012-280685)

【国際特許分類】

G 03 B 21/14 (2006.01)

G 03 B 21/00 (2006.01)

H 04 N 5/74 (2006.01)

【F I】

G 03 B 21/14 A

G 03 B 21/00 D

H 04 N 5/74 Z

【手続補正書】

【提出日】平成27年12月24日(2015.12.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0043

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0043】

図3に例示する設定画面60では、「AVミュートタイマー」、「スリープモード」、「スリープモード時間」、「レンズカバータイマー」の設定項目が配置されている。ユーザーはリモコン5または操作パネル51を操作して設定項目を選択し、省電力モードの要否を設定する。

設定画面60の設定項目名「AVミュートタイマー」は、AVミュート動作の実行時に、AVミュート動作が所定時間継続した後にプロジェクター1の電源をオフにする機能を設定することを示している。「AVミュートタイマー」の設定値は「オン」と「オフ」である。設定値が「オン」の場合はAVミュートを所定時間継続するとプロジェクター1の電源がオフにされ、かつ、AVミュート動作が実行される際に電力制御部102が省電力モードに移行する。これに対し、設定値が「オフ」の場合は、AVミュート動作を所定時間より長く継続してもプロジェクター1の電源がオフにされない。さらに、設定値が「オフ」の場合は、電力制御部102は省電力モードに移行しない。「AVミュートタイマー」に関する所定時間は、放電管45の供給電力のレベルを省電力レベルにしても放電管45の不具合を招かない時間となっており、具体的には30分である。AVミュート動作中に省電力モードを実行する場合、放電管45の不具合を防止するため、AVミュート動作を30分継続したらプロジェクター1の電源をオフにする必要がある。このようなプロジェクター1の動作、すなわち30分経過したらプロジェクター1の電源をオフにするという動作をユーザーが選択した場合に、電力制御部102が省電力モードを実行可能となる。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0057

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0057】

図5は、プロジェクター1の動作を示すフローチャートである。この図5は、プロジェクター1のカバー閉動作に係る一連の動作を示している。

この図5の動作は、プロジェクター1が通常動作状態で、投射制御部101がカバー検出部31の検出値に基づいて、レンズカバー30が開位置Oにないことを検出した場合に(ステップS41)、開始される。この通常動作状態は、プロジェクター1の電源が投入された後の入力を待機する状態、及び、入力画像データS1に基づいて画像をスクリーンSCに表示している状態を含む。

ステップS41でレンズカバー30が開位置Oにないことを検出した場合、投射制御部101は、レンズカバータイマーの設定値が「オン」か「オフ」かを判定する(ステップS42)。レンズカバータイマーの設定値は、設定画面60(図3)に基づいて設定され、設定データ11Bに含まれている。

レンズカバー設定の設定値が「オフ」である場合、投射制御部101は、カバー閉動作を実行し(ステップS43)、その後にレンズカバー30が開位置Oになるまで待機する(ステップS44)。そして、投射制御部101が、カバー検出部31の検出値に基づいてレンズカバー30が開かれたことを検出すると(ステップS44; Yes)、通常の投射状態に復帰し(ステップS45)、ステップS41に戻る。